

- 2面 介護マーク名札を無料配布
- 3面 市職員を募集
- 4面 父が残したシベリア抑留の記録
- 5面 健康 6・7面 みんなの窓

人口●198,076(-304) 世帯数●83,909(+598)  
 2021年7月1日推計 ( )は前年7月1日比  
 発行・伊丹市広報課



# 伊丹

広報



本紙8月1日号は7月20日時点の情報です。最新情報は市ホームページなどでご確認ください。

〒664-8503兵庫県伊丹市千僧1-1 ☎072-783-1234(代表) ファクス072-784-8107(広報課) ホームページ <https://www.city.itami.lg.jp>

## 市立伊丹病院

# ロボット支援手術を導入

市立伊丹病院は、手術支援用ロボット「da Vinci Xi サージカルシステム」を4月に導入しました。県内では20施設目、阪神北準圏域では2施設目の導入となります。前立腺悪性腫瘍手術をはじめ、さまざまな疾患の手術治療へと活躍の場を拡大していく予定です。問い合わせは市立伊丹病院 ☎77・3773へ。

### ロボット支援手術時代の幕開け

国内では2012年4月に泌尿器科での前立腺悪性腫瘍に対するロボット支援手術が保険適用となり、ロボット支援手術の時代が幕を開けました。

### 手術支援用ロボットの進化

当初、前立腺悪性腫瘍手術や腎悪性腫瘍の腎部分切除術など保険適用が泌尿器科に限定的であったため、導入施設も大学病院などの施設のみで少数でした。

しかし、18年4月に肺がんや胃がん、直腸がんに対する切除・摘出術、子宮筋腫や同内臓症



da Vinci Xi サージカルシステム

約400台の「ダヴィンチ」が稼働し、ロボット支援手術の普及に大きな役割を担っています。

### 手術方法と患者へのメリット

「ダヴィンチ」によるロボット支援手術は、ロボット技術を用いて小さな傷口で複雑な手術を行い、患者の体に負担が少ない低侵襲の手術をするために開発されました。

同手術は、人間がロボット技術を搭載したアームを遠隔操作して行うもので、AIロボットが自動で施術するわけではありません。

「ダヴィンチ」はロボット部(写真①)と助手用の映像カート(同②)、箱型の操作部(同③)で構成されています。

患者の体に挿入されるロボット部は先端に鉗子やメス、内視鏡などを取り付ける4本のロボットアームを持っています。箱型の操作部に手術を行う医師が座り、映し出される鮮明な3Dモニターでロボット部からの内視鏡画像を見ながら、人の手よりはるかに回転する関節

ダヴィンチによる手術風景



遠隔から手術を行う医師



市立伊丹病院のダヴィンチチーム



取り除くことができることから患者にとって、「再発を減らす」「合併症を減らす」可能性も高まります。

### 優れた専門チーム医療の提供とロボット外来の新設

市立伊丹病院では、「ダヴィンチ」の導入に当たり今年からダヴィンチチームを発足しました。ロボット支援手術施行に向けて十分にトレーニングを積み、認

## 新型コロナワクチン関連情報

12〜15歳に接種券を発送 接種予約は、インターネットか新型コロナワクチンコールセンターに電話申し込みを。

接種には、原則、保護者同伴の上、予診票の「被接種者又は保護者自署」欄に保護者の署名が必要です。

令和3年8月以降に12歳の誕生日を迎える人は、誕生日の次月に接種券を発送します。

### 集団接種会場について

ワクチン供給量の減少に伴い、阪神北広域こども急病センター、伊丹スポーツセンターの集団接種会場は8月24日

定ライセンスを受けた医師、看護師、臨床工学技士などによるチームの協力と管理体制の下、専門的技術を備えたスタッフが連携し安全で安心な医療を提供します。

また、装置の誤作動も非常に低い確率と考えられています。5月から同院で前立腺悪性腫瘍手術などに運用を開始しており、今後は、術後の合併症や負担を最小限に出来る可能性を期待して、他の外科チームや悪性腫瘍、疾患でもロボット支援手術を拡大していく予定です。

泌尿器科では、7月から火曜日の午後に「ロボット外来」を開設しています。

前立腺などの病気を疑われた人は、かかりつけ医と相談し、紹介受診が可能です。

また、ロボット支援手術をその他のがんなどでも順次開始していますので、手術の質問などについては、各科の担当医に問い合わせてください。

## 新型コロナウイルス 感染再拡大防止に協力を

県内の感染者数が増加しています。感染再拡大を防ぐため、改めて不要不急の外出・移動の自粛など協力をお願いします。市危機管理室 ☎784-8166

## いたみ花火大会は中止

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、第41回いたみ花火大会は中止します。

市まちなかにぎわい課 ☎784-8068

健康被害救済制度 新型コロナウイルス接種によって健康被害が生じ、医療機関で治療を受け、健康被害が同接種を受けたものであると国が認めた場合は、救済制度を利用することができます。